

設備工事業(空気調和換気設備工事業)に係る総合的  
かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料要約版

1書名	設備工事業(空気調和換気設備工事業)に係る総合的 かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料				
2発行番号	調査研究資料No. 130-5	3分野	生涯職業能力開発体系	4担当室	調査研究室

5目的

中小企業等が、日常業務の合間に社内の仕事や作業をゼロから洗い出し、従業員の人材育成計画や教育訓練計画等を策定するには大変な労力と時間が必要となります。本調査研究は、業種ごとに段階的かつ体系的に職務や仕事を整理し、必要な職業能力等を「見える化」することによって、企業において段階的かつ体系的な人材育成計画や教育訓練計画等を立てていただくことを目的に進めている調査研究です。

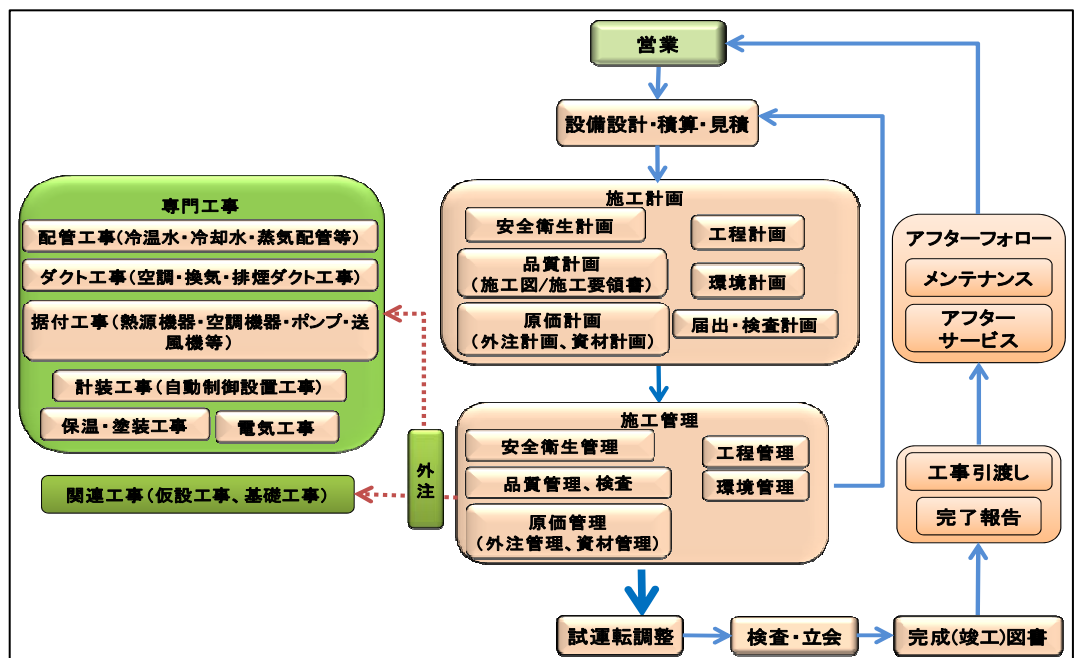
6概要

本調査研究は、中小企業等が人材育成において抱えている課題や問題(技能・技術の承継ができない、優秀な人材を確保したい、従業員に目標とやりがいを持たせたい、従業員ごとに必要な研修や研修計画の作り方が分からない等)を解決する一助として、産業団体等の協力を得て、それぞれの業種ごとに「職務」を遂行するために必要な能力要素を洗い出し、団体・企業等が行う能力開発や人材育成等に係る計画を効果・効率的に進めていただくよう整備しているものです。

本調査研究資料は、(社)日本空調衛生設備協会の協力のもと、設備工事業(空気調和換気設備工事業)の主にサブコンの業務を中心に受発注から施工、引渡しまでの一連の流れの中で行われる仕事や作業、またその作業を行うにあたって必要となる知識や技能・技術を洗い出し、また、仕事については個々にレベル間の調整を行い、段階的かつ体系的にまとめたものです。このデータ(職業能力体系のモデルデータ)は、「空気調和換気設備工事業」の中で主にサブコンが行う標準的な仕事や作業等を整理したものです。自社で活用するにあたっては、本モデルデータをベースに

自社の特徴などを付加して、オリジナルの職業能力体系のモデルデータを構築していただき、能力開発や教育訓練の計画・実施に活用していただけます。

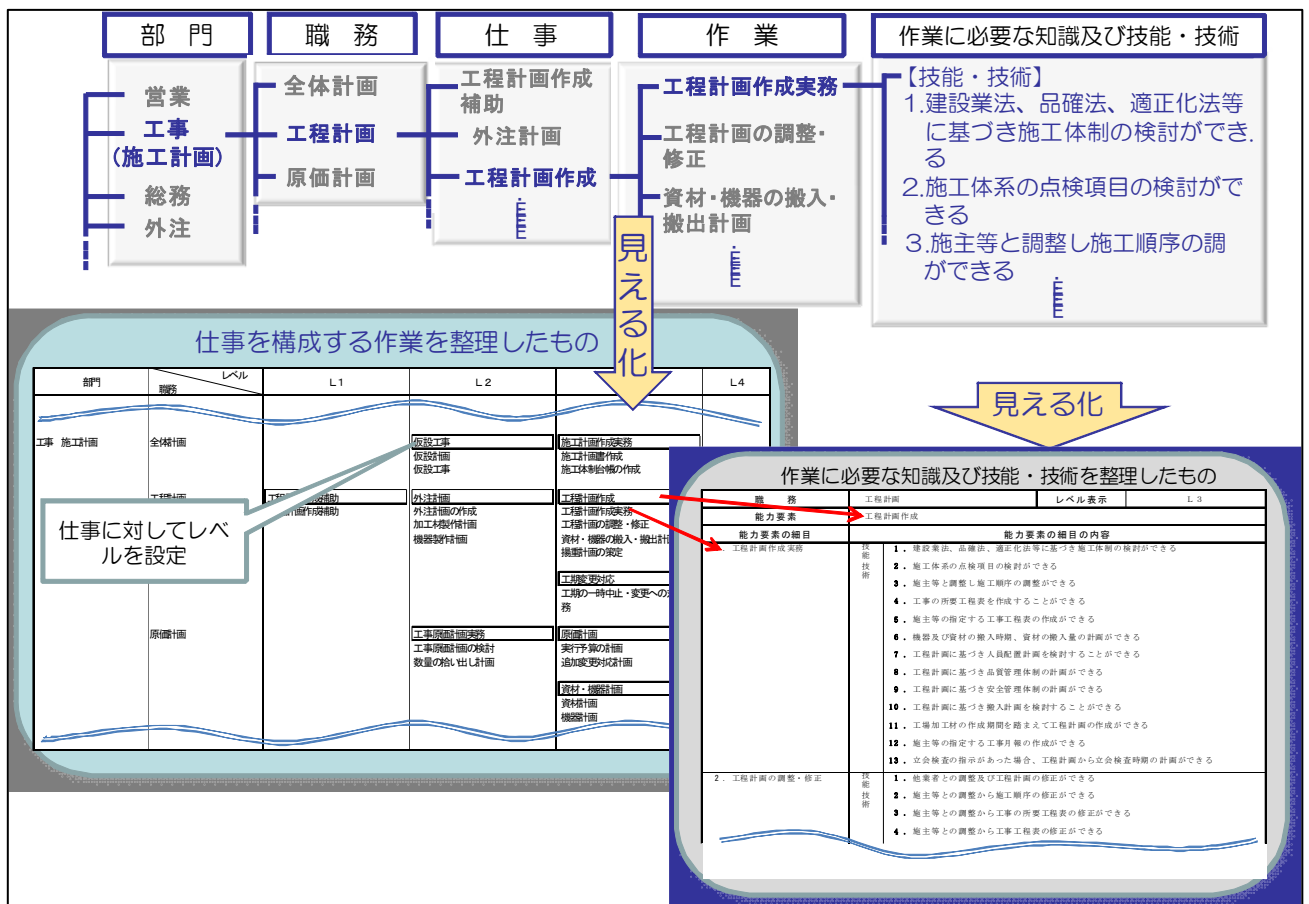
図表1: 設備工事業(空気調和換気設備工事業)の標準的な業務の流れ



## 7職務分析に係るポイント

- ①「施主」は大型の物件であっても一般住宅であっても、また新規やリニューアルに関係なく「施主」としてまとめた。
- ②近年は、改修工事の受注も増えているため、火気の対策やはつり作業等事前調査項目が新築工事と異なる内容を「改修工事に係る事前調査」を設定し内容をまとめた。
- ③建築事務所等が作成する図面（基本設計）に基づき現場を確認しながら調整した図面を「施工図(設備設計図面)」と表現し、差別化した。
- ④受注後、全体の工程計画及び管理にあたっては「施工体系図」や「施工体制台帳」、施工図に基づいた個々の作業要領については「施工要領書の作成」として整理した。
- ⑤工事に係る資料作成は、「営業」と「技術」が協力して行うものの、「見積」や「積算」は「営業」が中心となって行うため、「技術的な知識や技術が必要である営業」として内容を整理した。また、「営業」の仕事としては「総合評価方式(プレゼンテーションによる施工上の工夫やVE提案)」が多くなっているため、仕事や作業として内容を整理した。

図表2: 空気調換設備工事業の部門・職務等関係図



## 8本書の活用方法

生涯職業能力開発体系は、後継者・管理者・社員の人材育成や人材確保に関して、「仕事の見える化」・「能力の見える化」・「目標の見える化」等によって課題発見・解決に活用できます。例えば、自社のISO認証取得や人材育成、技能伝承に反映させる技術・技能マップの基礎資料としての活用事例があります。

注記 本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム

・能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>